全国駅弁博覧会
～お弁当箱全国版～

創刊号：2004年6月

「おにぎり文庫」全国事務局
102-0076　千代田区五番町3-1
五番町グランドビル6F
S.R.S事業部　大野　直子
ono.na@kumon.ne.jp

飯野和好さん講演会　池袋おにぎり文庫主催で実施！

6月26日（土）@池袋事務局

「ねぎぼうずのあさたろう」でおなじみ、飯野和好さんの講演会が、池袋おにぎり文庫主催で実施されました。開始2時間前から、着物姿で現れた飯野さん、演台に浪曲調の幕を張られたり、三味線（?）のチューニングをされと準備万端。もちろん土屋先生は祭り装束、黒子の両角さん、浴衣姿の渡辺さん（池袋事務局）大野もはかま姿で開演にのぞみました。

拍子木の音とともにまわしがっぱに三度笠姿で現れた飯野さん、「ねぎぼうずのあさたろう」「くろずみこたろう」「赤ずきん」と、時には鳴り物を鳴らしながら、制作秘話をかたりながらの楽しい読み聞かせ、絵本ができるまでの原案をみせていただけたり、7月に出る最新作「しらざあいってきかせやしょう」も見せていただき、約2時間はあっという間。ある自治体では、飯野さんと子どもたちが忍者ごっこをするという楽しいイベントも実施されたようです。いつまでも子どものときに遊んだ楽しい心を忘れずに絵本を描かれる飯野さんのお話に、参加された30名以上の先生方や一般の方も、時間を忘れて聞き入っておられました。

講演の後はサイン会。イラストを入れながら一人ひとりの名前を入れてサインをしていただけて、参加者全員大満足でした。うちに帰っても正調「あさたろう」の節回しのすばらしさが忘れられず、娘相手に何度も何度も読み聞かせをしてしまった、大野でした。やさしくて愉快な飯野さんのファン度を深めた、感動の一日でした!

（おにぎり事務局全国事務局／大野　直子）

なんだかねぇ、へ、へ、へぇんな・・・
『くろずみ小太郎旅日記』（クレヨンハウス）に初めて会ったとき、そのヘンなところに惚れました。
教室で見せたら、中高生にまずうけた、うけた!
「ありえねぇ～(笑)」
次に幼児にウケました。
「先生、ボクね、こいずみこうたろうがすきなんだよ。」と当時4歳のゆうきくん。
「?・・・こいずみこうたろう?まぁねぇ、お父さん偉い人だしねぇ・・・?」と私。
「こういずみこうたろうって色が黒いでしょ?」
「?・・・そう?・・・どっちかっていうと白くない?」
としばらくかみ合わない会話を続けた挙句、私ははっと気がついた!
「ゆうくん!それってもしかして『くろずみこたろう』じゃない?」
「そうだよ、こいずみこうたろうだよ。」キョトンとしているゆうきくんは
最後まで自分の間違いに気づきませんでした。
そんなゆうきくんももう5歳。
講演の後、飯野和好さんと「お疲れさん会」をしようと池袋の街を歩いていたら
そのゆうきくん一家とばったり会いました!
お母様は感激の握手!肝心のゆうきくんには「さくしゃ」の意味が通じてなかったようですが・・・。
月曜日に教室にいらしたお母様が「サインもらえばよかったのに、舞い上がっちゃって、すっかり忘れて!」
とあまり悔しがるので、しょうがないなぁ・・・と思いつつ、たくさんサインしていただいた貴重な本の中の一冊を
分けてあげた心の広いツチヤでした。

（池袋／雑司が谷教室／土屋　育子）

先生のお教室で起こっている、ステキな「本」をめぐる子どもたちのエピソード、ぜひ上記までメールください！お待ちしています！